

事業評価シート(R3年度事業評価用)

番号	0660090	001
----	---------	-----

【1.基本情報】

事業名	歴史博物館運営管理				
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部	担当課名	歴史博物館		
実施方法	直営	補助等の種類	-	実施主体	岐阜市
実施期間	昭和60 年度～	年度	根拠法令・関連計画	岐阜市歴史博物館条例第3条	

【2.事業概要】

事業の目的		市民が郷土を愛し、郷土の歴史と文化に関する知識と理解を深める生涯学習の場として活用し、豊かな市民文化の発展に寄与する。さらに、岐阜市の歴史的・文化的な魅力を全国に発信する観光拠点施設としての役割を果たす。
事業の内容		総合展示の維持・管理と特集展示、歴博セレクション及び企画展の開催、博物館資料の収集・管理および調査・研究
事業の対象	何を	郷土岐阜の歴史・文化の学習機会と成果の発表の場
	誰に	岐阜市民及び市外からの観光客
	どのくらい	月曜日、祝日の翌日及び年末年始を除く毎日
令和3年度(実施内容)		総合展示の維持・管理及び展示替えと特集展示、歴博セレクション及び企画展の開催、博物館資料の収集・管理および調査・研究

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和元年度決算額		令和2年度決算額		令和3年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	70,720	2,080	50,700	1,560	50,388	1,560
パートタイム会計年度任用職員(旧嘱託)	5,408	520	9,373	910	2,678	260
パートタイム会計年度任用職員(臨時雇用員)	1,692	360	1,728	360	864	180
計(A)	77,820	2,960	61,801	2,830	53,930	2,000

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		272,401	165,217	154,021
直接事業費の主な内訳		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
項目	光熱水費	19,519	18,291	20,755
	資料購入費	88	2,940	0
	資料保存処理業務委託	2,145	2,200	2,200
減価償却費【施設管理】(C)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		272,401	165,217	154,021

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	350,221	227,018	207,951

【4.収入】

収入内訳	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
国庫支出金	0	633	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	38,500
使用料・手数料	4,042	486	2,751
その他	4,836	15,173	385
計(F)	8,878	16,292	41,636

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	341,343	210,726	166,315

【6.コストバランス】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業受益者	市民、市外からの観光客	市民、市外からの観光客	市民、市外からの観光客
受益者数	79,470	81,922	16,925
受益者負担額(千円)	4,042	486	2,751
受益者負担率(%)	1.2%	0.2%	1.3%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	4,295	2,572	9,827

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入（インプット）により産出した活動（サービス））

活動指標名	特集展示・歴博セレクション・企画展回数	単位	回
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標値	6	6	6
実績値	5	2	9

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	常設展示一日平均観覧者数	単位	人
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標値	80	80	80
実績値	87	0※	60
達成状況	○（達成）	—	×（未達成）

※常設展示のスペースを大河ドラマ館にしていたため、常設展示は未実施

【8.評価】

評価項目	評価	理由（可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明）
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	市民が岐阜市の歴史を学び市の歴史を後世に伝えとともに、魅力を発信する施設として、市民・社会のニーズに込えている。 市民が岐阜市の歴史を学び市の歴史を後世に伝えとともに、魅力を発信する施設として、市が主体的に実施すべきである。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	資料の収集・保存及び調査・研究など短期的な収入に結びつきにくい業務があるが、長期的には有効と考えられる。 歴博ボランティアを導入し、総合展示室における体験指導及び補助と展示解説等を行っている。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	中	市民が郷土を愛し、郷土の歴史と文化に関する知識と理解を深める生涯学習の場として活用し、豊かな市民文化の発展に寄与できた。さらに、岐阜市の歴史的・文化的な魅力を全国に発信する観光拠点施設として展示等を通じ発信でき、トリップアドバイザー 日本HP上で、当館は岐阜市内観光スポット129件中11位に位置している。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	受益者(観覧者)に岐阜市歴史博物館条例に定める観覧料の負担を求め一方、岐阜市歴史博物館条例施行規則に定める市内小中学生、70歳以上の市内在住者、身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳・療育手帳交付者とその介護者1名、岐阜県家庭の日に観覧する中学生以下と同伴家族を無料とし、教育的配慮と公平な受益者負担に努めている。
〔総合評価〕 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)-廃止)	現状維持	平成17年3月にリニューアルして15年が経過した。その間、市民が郷土を愛し、郷土の歴史と文化に関する知識と理解を深める生涯学習の場として活用し、豊かな市民文化の発展に寄与できた。さらに、岐阜市の歴史的・文化的な魅力を全国に発信する観光拠点施設として展示等を通じ発信できた。 今後は総合展示室の更新も見据えながら遂行したい。 一方、開館以来37年間、岐阜市とその周辺地域を中心とする歴史と文化に関わる資料を中心に収集・保存している。

事業評価シート(R3年度事業評価用)

番号	0660090	002
----	---------	-----

【1.基本情報】

事業名	歴史博物館特別展				
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部	担当課名	歴史博物館		
実施方法	直営	補助等の種類	-	実施主体	岐阜市
実施期間	昭和60 年度～	年度	根拠法令・関連計画	岐阜市歴史博物館条例第3条	

【2.事業概要】

事業の目的		市民が郷土を愛し、わが国および諸外国の歴史と文化に親しみ、その知識と理解を深め、豊かな市民文化の発展に寄与する。さらに、岐阜市の歴史的・文化的な魅力を全国に発信する観光拠点施設としての役割を果たす。
事業の内容		特別展の開催、特別展に関する資料等の調査・研究
事業 の 対 象	何を	郷土岐阜の歴史・文化および国内外の歴史・文化の学習および鑑賞機会の場
	誰に	岐阜市民及び市外からの観光客
	どのくらい	月曜日、祝日の翌日及び年末年始を除く毎日
令和3年度 (実施内容)		特別展「壬申の乱」「用の美」「波濤を越えて」を開催した。

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和元年度決算額		令和2年度決算額		令和3年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	8,840	260	21,125	650	25,194	780
パートタイム会計年度任用職員(旧嘱託)	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員(臨時雇用員)	0	0	0	0	0	0
計(A)	8,840	260	21,125	650	25,194	780

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		16,960	42,777	28,695
直接事業費の主な内訳		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
項目	開催負担金	16,960	39,749	23,771
	委託料等一式	0	1,220	4,618
減価償却費【施設管理】(C)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		16,960	42,777	28,695

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	25,800	63,902	53,889

【4.収入】

収入内訳	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	273	2,139
その他	5,173	15,474	4,773
計(F)	5,173	15,747	6,912

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	20,627	48,155	46,977

【6.コストバランス】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業受益者	市民、市外からの観光客	市民、市外からの観光客	市民、市外からの観光客
受益者数	11,480	19,225	14,786
受益者負担額(千円)	5,173	15,747	6,341
受益者負担率(%)	20.1%	24.6%	11.8%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	1,797	2,505	3,177

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入(インプット)により産出した活動(サービス)）

活動指標名	特別展の開催日数	単位	日
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標値	80	80	80
実績値	46	51	110

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	特別展一日平均観覧者数	単位	人
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標値	250	250	250
実績値	250	377	134
達成状況	○（達成）	○（達成）	×（未達成）

※常設展示のスペースを大河ドラマ館にしていたため、常設展示は未実施

【8.評価】

評価項目	評価	理由（可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明）
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	中	社会教育施設として市民に質の高い歴史、文化に身近に触れる機会を提供することで、学校教育、生涯学習に資するとともに、岐阜市を誇りとするシビックプライドを醸成し、あわせて市外からの集客を図る。 国宝、重要文化財の公開を適切に行うことができる施設及び人材を有している施設として、県内で唯一文化庁から公開承認施設の認定を受けるとともに、深く教育に関わり、市の文化行政と密接な連携を図る必要性から、市が主体的に実施すべきである。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	社会教育施設として、短期的な収益の向上のみを目指すのではなく、長期的な教育的効果の向上が重要である。 特別展開催にあたって、新聞社等より出資を得て実行委員会を組織して運営している。また、市民ボランティア及び中高生博物館学芸員の活用を図り事業を実施している。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	中	市民の岐阜市を誇りとするシビックプライドの醸成、岐阜市の友好都市をはじめとする諸外国の文化と歴史の紹介と理解、さらに岐阜市に係る歴史と文化を発信する観光拠点施設として有効性が高い。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	各特別展実行委員会は経費を基に算出した特別展観覧料を設定し受益者(観覧者)に負担を求める一方、岐阜市歴史博物館条例施行規則に定める市内小中学生、70歳以上の市内在住者、身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳・療育手帳交付者とその介護者1名、岐阜県家庭の日に観覧する中学生以下と同伴家族を無料とする議決を行い、教育的配慮と公平な受益者負担に努めている。
〔総合評価〕 (現状維持・改善(統合・縮小含む。）・廃止)	現状維持	市民が郷土を愛し、わが国および諸外国の歴史と文化に親しみ、その知識と理解を深めることができた。さらに、岐阜市の歴史的・文化的な魅力を全国に発信する観光拠点施設として展示を通じ発信できた。なお、学校教育との連携(博学連携)を前提としたものも多く、今後も効果的に展開していきたい。

事業評価シート(R3年度事業評価用)

番号	0660090	003
----	---------	-----

【1.基本情報】

事業名	歴史博物館教育普及				
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部	担当課名	歴史博物館		
実施方法	直営	補助等の種類	-	実施主体	岐阜市
実施期間	昭和60 年度～	年度	根拠法令・関連計画	岐阜市歴史博物館条例第3条	

【2.事業概要】

事業の目的		市民が郷土を愛し、郷土の歴史と文化に関する知識と理解を深め、豊かな市民文化の発展に寄与するとともに、学校教育の支援を行う。
事業の内容		一般及び子ども・親子を対象にした、郷土の伝統文化に関わるものづくりや教養講座を開催するとともに、小学校の授業支援を行う。
事業 の 対 象	何を	岐阜市の歴史や文化を学習する機会の提供
	誰に	市民全般
	どのくらい	8講座
令和3年度 (実施内容)		古文書入門・岐阜提灯を作る・岐阜和傘を作る・子ども歴史講座・夏の子ども教室・土曜講座・まちなか博士サポート講座・出前授業を実施した。ただし、子ども歴史講座・夏の子ども教室は一部新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。 また、中高生博物館学芸員(SMC)による「見どころキャプション」の設置活動により、地域の歴史と文化を学ぶ場を提供した。

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和元年度決算額		令和2年度決算額		令和3年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	8,840	260	8,450	260	8,398	260
パートタイム会計年度任用職員(旧嘱託)	2,704	260	2,678	260	2,678	260
パートタイム会計年度任用職員(臨時雇用員)	0	0	0	0	0	0
計(A)	11,544	520	11,128	520	11,076	520

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		8,507	5,797	6,919
直接事業費の主な内訳		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
項目	博物館だより印刷	463	460	474
	研究紀要印刷	0	369	0
	館蔵品図録印刷	0	0	979
減価償却費【施設管理】(C)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		8,507	5,797	6,919

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	20,051	16,925	17,995

【4.収入】

収入内訳	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	1,959	206	718
計(F)	1,959	206	718

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	18,092	16,719	17,277

【6.コストバランス】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業受益者	市民全般	市民全般	市民全般
受益者数	1,100	47	151
受益者負担額(千円)	1,959	206	718
受益者負担率(%)	9.8%	1.2%	4.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	16,447	355,723	114,417

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入(インプット)により産出した活動(サービス)）

活動指標名	講座開催回数		単位	回
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
目標値	9	9	9	
実績値	8	2	7	

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	講座延べ参加者数		単位	人
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
目標値	1,180	1,180	1,180	
実績値	1,100	47	235	
達成状況	×（未達成）	×（未達成）	×（未達成）	

【8.評価】

評価項目	評価	理由（可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明）
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	子どもたちの郷土愛を醸成するためにも、学習指導要領に沿う形で郷土の歴史や文化に関する講座を開講することが重要であり、社会教育に対する市民・社会のニーズに応えている。 子どもたちの郷土愛を醸成するためにも、学校指導要領に沿う形で郷土の歴史や文化に関する講座の開講や、中高生博物館学芸員による展示説明等の活動を通し、生きる力とシビックプライドの醸成を図ることが必要である。これらは教育に深く関わることから市が主体的に実施すべきである。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	子どもたちに対する郷土教育は、今後の人生に対する希望と目標を与えるためのものであり、教育的効果は高いと思われる。 講座の開催にあたり、市が主催ということで、講師やボランティアの積極的な協力が得られている。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	中	市民が郷土を愛し、郷土の歴史と文化に関する知識と理解を深め、豊かな市民文化の発展に寄与するとともに、学校教育の支援を効果的にを行っている。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	各講座ごとに受講料を設定し、受益者に費用の一部負担を求めている。ただし、土曜講座、まちなか博士サポート講座等、内部講師でありかつ材料費等の費用もかからないものは無料としている。 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う多くの講座の中止で、コストバランスが悪化している。
〔総合評価〕 (現状維持・改善(統合・縮小含む。）・廃止)	現状維持	新型コロナウイルス感染症拡大に伴う講座の一部中止で、コストバランスが悪化したものの、市民が郷土を愛し、郷土の歴史と文化に関する知識と理解を深め、豊かな市民文化の発展に寄与するため、今後も講座を計画し、学校教育との連携・支援について積極的に調整を図りながら、効果的に開催していく。

事業評価シート(R3年度事業評価用)

番号	0660090	004
----	---------	-----

【1.基本情報】

事業名	加藤栄三・東一記念美術館運営管理				
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部	担当課名	歴史博物館		
実施方法	直営	補助等の種類	-	実施主体	岐阜市
実施期間	平成6 年度～	年度	根拠法令・関連計画	岐阜市歴史博物館条例第3条	

【2.事業概要】

事業の目的		市民が郷土を愛し、全国レベルの芸術文化に親しむ場として活用し、豊かな市民文化の発展に寄与する。さらに、岐阜市の芸術文化的な魅力を全国に発信する拠点施設として、観光面での大きな役割を果たす。
事業の内容		第1展示室において、加藤栄三・東一両画伯の作品を展示し画業を顕彰する。 第2展示室において、地元で活躍する画家・作家グループなどの作品を展示する。
事業 の 対 象	何を	加藤栄三・東一両画伯およびふるさと岐阜にゆかりのある作家の作品を紹介
	誰に	岐阜市民及び市外からの観光客
	どのくらい	月曜日、祝日の翌日及び年末年始を除く毎日
令和3年度 (実施内容)		第1展示室において、加藤栄三・東一両画伯の作品を紹介する企画展を5回開催した。 第2展示室において、地元で活躍している画家や作家グループなどの作品を紹介する企画展を9回開催した。

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和元年度決算額		令和2年度決算額		令和3年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員 (旧嘱託)	7,592	730	7,519	730	7,519	730
パートタイム会計年度任用職員 (臨時雇用員)	0	0	0	0	0	0
計(A)	7,592	730	7,519	730	7,519	730

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		10,646	11,689	13,651
直接事業費の 主な内訳		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
項目	ポスター等印刷	1,866	1,597	1,326
	作品輸送業務委託	1,716	2,157	3,359
	会場構成業務委託	338	359	491
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		10,646	11,689	13,651

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		18,238	19,208	21,170

【4.収入】

収入内訳		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
国庫支出金		0	107	0
県支出金		0	0	0
市債		0	0	0
使用料・手数料		639	389	383
その他		1,201	1,039	1,030
計(F)		1,840	1,535	1,413

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		16,398	17,673	19,757

【6.コストバランス】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業受益者	市民、市外からの観光客	市民、市外からの観光客	市民、市外からの観光客
受益者数	8,866	4,655	5,706
受益者負担額(千円)	639	389	383
受益者負担率(%)	3.5%	2.0%	1.8%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	1,850	3,797	3,462

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入（インプット）により産出した活動（サービス））

活動指標名	開催日数	単位	日
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標値	303	303	303
実績値	305	266	245

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	観覧者数	単位	人
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標値	12,000	12,000	12,000
実績値	8,866	4,655	5,706
達成状況	×（未達成）	×（未達成）	×（未達成）

【8.評価】

評価項目	評価	理由（可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明）
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	中	全国レベルの加藤栄三・東一両画伯の作品から郷土作家の作品までそれぞれの作品を展示することで、市民文化の発展に寄与している。 加藤栄三・東一両画伯の画業顕彰はもとより、地元作家を発掘し芸術活動を顕彰する場の提供は、専門知識を有し、地元の事情に精通し、調査から展示までを一貫して行うことが必要なため、市が主体的に実施すべきである。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	絵画を中心に全国レベルの郷土作家の作品を紹介し、費用以上の内容の展覧会を開催している。 市立美術館という公共性が背景にあって、レベルの高い展覧会の開催が可能となっている。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	中	市民が郷土を愛し、全国レベルの芸術文化に親しむ場として活用し、豊かな市民文化の発展に寄与できた。さらに、岐阜市ゆかりの芸術の魅力を全国に発信するという独自のコンセプトにより、観光面での大きな役割を果たすことができた。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	受益者（観覧者）に岐阜市歴史博物館条例に定める観覧料の負担を求める一方、岐阜市歴史博物館条例施行規則に定める市内小中学生、70歳以上の市内在住者、身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳・療育手帳交付者とその介護者1名、岐阜県家庭の日に観覧する中学生以下と同伴家族を無料とし、教育的配慮と公平な受益者負担に努めている。
〔総合評価〕 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)-廃止)	現状維持	市民が郷土を愛し、全国レベルの芸術文化に親しむ場として活用し、豊かな市民文化の発展に寄与し、さらに、岐阜市ゆかりの芸術の魅力を全国に発信する独自のコンセプトによる拠点施設として、観光面での大きな役割を果たしてきた。 一方、加藤栄三・東一両画伯をはじめ郷土作家を中心とする資料を中心に収集・保存している。

事業評価シート(R3年度事業評価用)

番号	0660090	005
----	---------	-----

【1.基本情報】

事業名	加藤栄三・東一記念美術館教育普及				
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部	担当課名	歴史博物館		
実施方法	直営	補助等の種類	-	実施主体	岐阜市
実施期間	平成6 年度～	年度	根拠法令・関連計画	岐阜市歴史博物館条例第3条	

【2.事業概要】

事業の目的		市民が郷土を愛し、芸術文化に親しみ、その体験・体感的な知識と理解を深める生涯学習の場として活用し、豊かな市民文化の発展に寄与する。
事業の内容		絹絵・版画教室および親子絵画教室の開催
事業 の 対 象	何を	芸術文化に親しみ、自ら学ぶための機会の提供
	誰に	市民全般
	どのくらい	3講座
令和3年度 (実施内容)		「絹絵教室」(5日間)、「親子絵画教室」(1日間)及び「版画教室」(5日間)を開催した。

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和元年度決算額		令和2年度決算額		令和3年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員 (旧嘱託)	520	50	515	50	515	50
パートタイム会計年度任用職員 (臨時雇用員)	0	0	0	0	0	0
計(A)	520	50	515	50	515	50

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		726	49	243
直接事業費の 主な内訳		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
項目	報償費	230	0	230
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		726	49	243

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	1,246	564	758

【4.収入】

収入内訳	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	165	49	81
計(F)	165	49	81

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	1,081	515	677

【6.コストバランス】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業受益者	市民全般	市民全般	市民全般
受益者数	183	0	58
受益者負担額(千円)	165	0	81
受益者負担率(%)	13.2%	0.0%	10.7%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	5,907		11,672

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入（インプット）により産出した活動（サービス））

活動指標名	講座開催回数		単位	回
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
目標値	3	3	3	
実績値	4	0	3	

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	講座延べ参加者数		単位	人
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
目標値	450	450	450	
実績値	467	0	210	
達成状況	○（達成）	—	×（未達成）	

【8.評価】

評価項目	評価	理由（可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明）
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	中	社会教育施設として市民が芸術文化に親しみ、スキルアップを図るための講座であり、市民・社会のニーズに込えている。 専門家を講師に迎え、芸術文化への入り口および技術面で初級者の段階の市民のスキルアップを図る講座であり、広く市民を対象にした講座であるため、市が主体的に実施すべきである。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	講座修了生がより高いレベルの芸術鑑賞者となることが期待でき、市の芸術文化の水準向上が効率的にできると考えられる。 専門性を持たせつつ、広く市民に聞かれた講座とするためには、市が主催することが適当である。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	中	市民が郷土を愛し、芸術文化に親しみ、その体験・体感的な知識と理解を深める生涯学習の場として活用し、豊かな市民文化の発展に寄与することが重要であり、効果的に機会を提供できている。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	各講座ごとに受講料を設定し、受益者に費用の一部負担を求めている。
〔総合評価〕 (現状維持・改善(統合・縮小含む。))・廃止)	現状維持	市民が郷土を愛し、芸術文化に親しみ、その体験・体感的な知識と理解を深める生涯学習の場として活用し、豊かな市民文化の発展に寄与することが重要であり、内容を吟味し効果的に開催することができた。今後も事業を継続し、美術館ならではのノウハウを生かした、教育普及の方策の多様化を図っていく。